

京王電鉄バス株式会社
京王バス株式会社

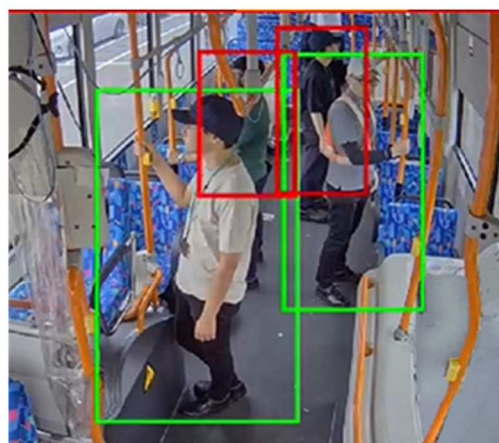
AI 搭載型「車内事故防止システム」を路線バスで運用開始

～AI による安全確認支援で、お客さまの安全性向上と乗務員の負担軽減を目指します～

京王電鉄バス株式会社および京王バス株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長：井上晋一、以下「当社」）は、日野自動車株式会社（本社：東京都日野市、以下「日野自動車」）が提供する AI 搭載型「車内事故防止システム」を、当社が運行する路線バスに導入します。

路線バスでは、発車時や減速時の車両の揺れにより、つり革や手すりにつかまっていないお客さまが転倒・負傷される事故が発生することがあり、国土交通省の「事業用自動車総合安全プラン 2030」においても車内事故件数削減が目標設定されているなど業界全体の課題となっています。

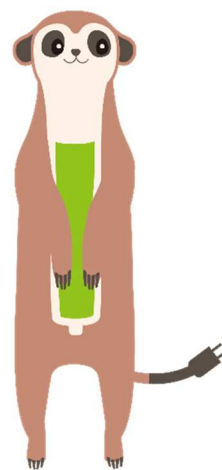
本システムは、車内カメラの映像を AI で解析し、お客さまの姿勢や動きから転倒につながるおそれのある状況を検知し、危険と判断した際には、画面と音声で乗務員に通知するとともに、車内モニターを通じてお客さまに着席やつり革・手すりの利用を促します。これにより、発車前などにおける乗務員の安全確認を支援し、車内事故のリスク低減と安全・安心な輸送サービスの提供を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を推進します。また、将来の自動運転バス実現に向けた重要なツールとして活用してまいります。



《前方カメラの撮影イメージ》

緑枠
つかまっている状態

赤枠
つかまっていない状態



自動運転バスキャラクター
《み～あちゃん》

本件のポイント

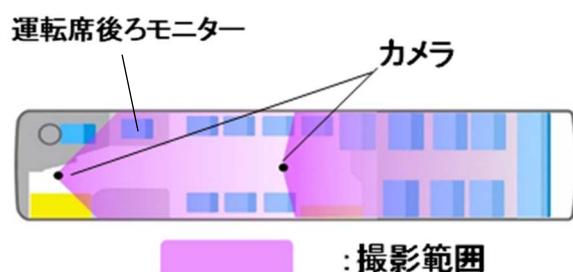
- ① 車内映像を AI で解析し、お客さまの姿勢や動きから転倒につながるおそれのある状況を検知
- ② 危険を検知した際は、画面・音声で乗務員に通知し、車内モニターでお客さまにも注意喚起
- ③ 安全・安心な輸送の提供、乗務員の負担軽減、自動運転バスの実現に向けた取組み

1. 概要

- ・運用開始 : 2026年8月下旬から
 - ・対象車両 : L21604 (多摩200か3057)
 - ・所管営業所: 調布営業所
 - ・対象路線 : 調布駅北口⇄三鷹駅南口 (鷹66)・調布駅北口⇄深大寺 (調34)
多摩川住宅循環 (調11・調12・調41)
- ※路線は、車両運用等により変更となる場合があります。

2. システムの特徴

- ・車内カメラによるお客さまの状態・動きの把握
- ・転倒事故につながる可能性のある状況の検知
- ・運転席後ろのモニター等によるお客さまへの注意喚起



《カメラ位置と撮影範囲》



《運転席後ろモニターイメージ》

3. お客さまへの安全上のお願い

本システムは、車内事故の防止を支援するものですが、すべての危険を検知・防止できるものではありません。

お客さまにおかれましては、発進時には手すりやつり革にしっかりとおつかまりいただき、走行中の車内移動はお控えください。また、バスが完全に停車し、扉が開いてからお降りいただきますようお願いいたします。

安全運行へのご理解とご協力をお願いいたします。

4. 日本バス協会が主催する実証実験への参加

当社では、日本バス協会・日野自動車と連携し、2026年9月7日から10月2日まで(予定)「AI搭載型乗合バス車内事故防止システム」の効果を検証する実証実験に参加いたします。

[実証実験の詳細はこちら]

https://www.bus.or.jp/cms/wp-content/uploads/2026/08/20260805_shanaijikoboushi_press.pdf

お問い合わせ先 (平日10:00~17:00)

京王電鉄バス株式会社 安全技術部安全推進・サービス向上担当
TEL: 042-352-3724

藤田までお願いいたします。